

令和6年度秋田大学大学院医学系研究科
医科学専攻（修士課程）入学試験
（1回目）

小論文

令和5年9月5日（火）（12：40～14：10）

試験終了後、解答用紙のみを提出してください。

監督者の指示があるまで、問題を開かないでください。

問題数	3問
問題用紙	3枚
解答用紙	2枚

以下の文章を読んで問いに答えなさい。

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

(本文省略)

出典：『海馬を求めて潜水を～作家と神経心理学者姉妹の記憶をめぐる冒険』ヒルデ・オストビー & イルヴァ・オストビー著，中村冬美・羽根由訳
みすず書房、一部抜粋・一部改変

問1 虚偽記憶とはどのようなもので、なぜ形成されるのか、筆者の主張を
150字以内でまとめなさい。

問2 【①】に入る文章を50字以内で答えなさい。

問3 将来、人の記憶を操作することにより起こりうる事態について、本文の趣旨に即してあなたの考えを300字以内で論じなさい。

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

医科学専攻（修士課程）「小論文」解答用紙

2/2

問3 将来、人の記憶を操作することにより起こりうる事態について、本文の趣旨に即してあなたの考えを 300 字以内で論じなさい。

（横書き）

20×15

（300 字）

回答と配点

問1 配点 30 点

虚偽記憶とは、想像で生まれたものがなんらかの方法で記憶へと移り、突然、現実として感じられるようになることである。記憶容量を効率化するため、記憶が再構成される際に偽りの記憶として動員される。作り話で自伝的記憶をしっかりと覚えている人や時間が長く経過することにより発生しやすいといわれる（141字）。

問2 配点 20 点

実際はねずみが対象の場所で快感を体験することはなくとも、人工的な結合が発生した

問3 配点 50 点

虚偽記憶のメカニズムが動物実験などで明らかになりつつあり、人においても将来、虚偽記憶を外部から植え付けるといったことができるようになる可能性がある。その場合にはメリットやデメリットとして幾つかのことが想定される。メリットとしては、精神的ダメージを追った人に対して幸福度を増強させる虚偽記憶を作成することにより心的外傷後ストレス障害やうつ病などの治療として用いられる可能性があげられる。一方、デメリットとしては記憶操作が犯罪に使用されたり、国家権力者が不都合な事実を国民の記憶から消去したりする可能性がある。更に「真実」と「偽り」の区別がよりいつそうわかりにくい社会が形成されてしまうことが危惧される（300字）。